

令和元年度

第4回八王子市みどりの基本計画策定検討懇談会

令和2年2月3日(月)

本庁舎議会棟4階 第6委員会室

八王子市環境保全課

令和元年度 第4回八王子市みどりの基本計画策定検討懇談会出席名簿

出席者	座長	沼田 真也
	委員	市古 太郎
		町野 いこひ
		大久保 徹
		田所 喬
		城所 幸子
		小野 弘人
		竹下 博士
		仲井 広重 (上中 章雄委員 代理出席)
		木村 一史

欠席者	阿部 伸太
	藤原 啓二
	米田 剛行

事務局職員	環境部長	三宅 能彦
	環境保全課長	石井 正光
	環境保全課	佐藤 高広
		福士 大介
		吉澤 遼
	公園課	宮澤 雅記
		島村 俊一
		島田 涼子
	アジア航測(株)	藤原 真太郎
		海士部 誉士

公開・非公開の別

公開 (傍聴人 0人)

令和元年度第4回八王子市みどりの基本計画策定検討懇談会 次第

日 時 令和2年（2020年）2月3日（月）
午後1時30分～3時00分
場 所 第6委員会室

1 開 会

2 議 題

- (1) パブリックコメントの結果について
- (2) 八王子市みどりの基本計画（案）について
- (3) その他

3 閉 会

【資料】

- ・みどりの基本計画（素案）のパブリックコメント実施結果・・・・・・・・・・資料1
- ・八王子市みどりの基本計画（案）・・・・・・・・・・冊子

1. 開会

事務局 昨年末にパブリックコメントを実施し、30 名 61 件の意見をいただいた。今回は最終案として提示させていただくので、お気づきの点があればご意見いただきたい。

2. 参加者紹介

・ 欠席者の報告及び配布資料の確認。

3. 議題

(1)パブリックコメントの結果について

事務局 資料 1 について説明

■ 質疑応答

座長 今の説明について、意見をいただきたいがどうか。

委員 南口集いの拠点整備の木材利用に関して、市の考えと同じ。森づくりは出口戦略がないと進まないため、記載は残すべき。

座長 木を燃やして大気中に二酸化炭素を戻さない限りは、二酸化炭素の吸収に貢献するため、記載に違和感はない。森づくりの出口まで考えている点で、問題ないと考える。

委員 協働・連携に関して、大学生の活動でボランティアを募集しても集まらない。所管はどこになるのか。また、ボランティア一覧のようなものは出るのか。

事務局 大学関係の取りまとめは、学園都市文化課になる。ここで大学側のニーズ調査をしているが、市民団体のニーズを集めてマッチングさせるまでは至っていない。情報がないとマッチングができないため、まずは情報共有が一番だと考える。

座長 ボランティアセンターは比較的最近発足して、その中で学生が活動している状況。何か特定の事に特化して活動することもあるが、センターが重要視するテーマに沿って活動している印象。そのため、こういう活動で人手が欲しいという要望に対応できる体制ではないのではと感じた。マッチングは重要で、そのような取組をやる動きもあるため、行政や NGO などと一緒にやったほうが良い。これからどうコミュニケーションをとるかが課題。

委員 都環境局では、大学生に来ていただき活動する取組を実施しているが、やっと 5 大学ぐらいに広がった。八王子市は大学が多くあるため、頑張っていただけだと思う。

委員 首都圏の大学ではオリパラ目掛けて、ボランティアセンターを拡充してきたのが近年の流れ。今年は、オリパラの背中を押してあげるのに精一杯だと思う。学生として貢献するカルチャーは地域の身近なところということを期待はしている。

委員 大学コンソーシアムは熱心に取り組んでいるが、ボランティアだけではなかなか集まらない。

座長 ボランティアよりはプロジェクトとし、魅力あるような形にして学生を引き付けることが、これからは必要になると感じる。大学は教育制度で迷走しており、その中で悩みを抱えながらやっている。そのようなところをどうしていけばよいかも、グランドデザインとして話をしていくかが大事。その他、お気づきの点等はあるか。

委員 市の意見は正式に発表したものか。

事務局 まだ案であり発表していない。関係所管と調整をするため、正式な考えは2月末～3月上旬の発表を予定。

委員 環境教育に関することで、書き加えて良いことが2点あり、1点目が懇談会委員として教育委員指導課の環境教育担当が出席している点。2点目が学校の教育課程を今作成しているが、懇談会での内容を活かしている点。そのため、連携は取れていることをもっとアピールしてもよいのではないかと思う。具体的にはSDGsについて、今回から各学校に教科で関係している部分を位置づけるよう伝えており、教員のSDGsの理解も上がってくると思われる。こちらでもそれを支援する取組をしている。

座長 コラムが良かったという意見が出るのは良いことで、他の自治体では専門家に依頼して書いてもらうことが多いが、八王子市の場合はどうしたのか。

事務局 職員が執筆した。

座長 そのような職員がいることが八王子市の強み。コラムを書けることは素晴らしいことで、自慢していいこと。

パブリックコメントのため様々な意見があり難しいが、みどり率については、私たちがみどりの基本計画の中でみどりを考えるときに何をよりどころとしていくかの大事な指標。現状において他の自治体との比較などで使えることは間違いないが、その水面等を含めたみどり率で考えていくべきか、意見として踏まえ検討していく話だとは思う。

委員 意見一覧を見て思ったことは、みどりの基本計画を見た方は、何かしてくれるという感覚だと思う。自分事として何が出来るのかを計画を見たときに思ってもらうことが本来の姿だと思う。我々としても思ってもらうためにはどうしたらいいか考える必要がある。

座長 計画は、人任せとなることが多いので気になるところ。あなたたちはここまでやっていいというような裁量を示したほうがいいのか。市民にこれをやってください以外に、こんなことができますと強調する計画もあると思う。行政の中で計画を立てて市民とコミュニケーションしていくことも目的であるため、今後いかに関心を持ってもらうかを考える必要がある。八王子市が優秀な職員が揃っているため、そのようなことにチャレンジしてほしい。

(2) 八王子しみどりの基本計画（案）について

事務局 計画面及びグリーンインフラの対応について説明。

■質疑応答

座長 グリーンインフラについては、補助金が変わりその対応が必要となったため、計画面でもう少し入れ込む必要がでてきたということか。

事務局 まだ確定的なところではないが、必要があれば記載内容を少し変更するという状況。

座長 現状グリーンインフラという概念は非常に広く、この基本計画の内容と齟齬は生じないので、直すにしてもそのような方向で修正があるということで皆様には承知いただきたい。ほかに今の説明について、ご意見はあるか。

委員 将来像について、秋川丘陵自然公園が抜けているが、ここではあえて取っているのか。

事務局 本市に自然公園の一部が入っているため、追記したい。

- 座長** 書き方などがわかりやすくなったが、他にいかがか。
- 委員** 里山の記載は、都や市のものが出てくるが、どこが指定しているのか。
- 座長** 里山と称するものに関する制度は複数あり、それぞれ環境省に関するものや東京都の保護地域などが混在している。
- 事務局** 環境に関することは、都市計画法のような全国的に統一された体系になっていない印象。国は国の制度があり、そこで補完されない部分を都が保全地域のような形で行っており、あとは市が条例を持っていたりする。それぞれが補完しあってやっている印象がある。国の制度に基づくと規制で厳しくなるが、自然は生き物相手なので、それだとやりづらい部分もある。市では、もう少し緩く協働のようなもので補完しあって今に至っている。
- 委員** 佐川急便のコラムが記載されているが、どのようなものか知らなかったため、説明していただけると助かる。
- 委員** 社有林で弊社の所有地になる。環境保全の活動場所として、2007年から「高尾100年の森プロジェクト」をスタートさせた。名前のおり100年かけて、美しい里山を再生させることがコンセプト。その再生については、企業だからお金をかけて機械でやるわけではなく、地元の方やボランティア、教育機関など様々な人たちと時間をかけてゆっくり再生していく。最初は荒地で人が入れる状態ではなかったが、開始から10年以上経過して開けてきたため、次は自然体験できる場所、それが環境教育につながる場所として使うことも目的に、今は自然体験、環境教育を中心に活用している。その活動が、東京都で初めての「体験の機会場」としての認定を八王子市からいただいた。
- 座長** このような取組が紹介されることは非常に良いことである。他にどうか。
- 委員** 資料編の市街化調整区域のみどりの特性は、良い資料。これはみどりの基本計画のために作業を進めたものか。
- 事務局** 平成25・26年に環境影響評価として委託で出したものを利用した。ここに載せるにあたっては、細かいデータによって希少種の盗掘や個人情報、土地の資産の問題もあったため、100mメッシュで区切って、4段階の評価で表している。
- 委員** データはいつものを使用したのか。
- 事務局** ベースとなるA～Dは平成25、26年調査のもの。農地は平成29年時点のデータである。
- 委員** 良い資料のため、そのあたりを誤解ないように表現してもらえば良い。
- 座長** Aが良くてDが悪いというようなことがわかれば良いと思う。
長池公園がモニタリングサイト1000であるように、環境省として注目している場所や東京都で注目している場所があり、八王子市の自然を示すときに、市だけでなく、国でも注目されている場所ですと、資料編のような地図で示されているとわかりやすいと思ったため、今後の課題としていただければと思う。

(3) その他

- 事務局** 今後のスケジュールについて説明。
- 座長** 冊子をご覧いただき、修正等があれば連絡してほしい。大きい修正は座長と事務局に対応を一任させていただきたい。

4. 閉会

参加委員および事務局挨拶

座長 このような場に参加して思うのが、極論であるが、市のみどりが無くても生きてはいける。それで急に死に絶えることはないため、比較的贅沢な文化だととらえられる。それに熱い思いを持って取り組んでいる人たちがいることは素晴らしいこと。一方で、その極論は否定できない。無くても生きていけるのであれば、お金がかかるからいない、嫌いな人がいるからいないとなりがち。その時に大事だからといっても理解されない。そのようなことが現代社会にもあるのではないかと思っている。良さや素晴らしさを理解している人が伝えることが責任として重要ではないか。様々なボランティア活動で頑張っている方や企業で頑張っている方が活動を行っているが、その楽しさが伝わってないことが、大学のボランティア活動を見ていて思う。やはり楽しくないとできない。今は30-40年前とは違って、学生も社会人も年配の方も本当に余裕がない。その中で魅力を適切に伝えないといけない。それを伝えるのが、今やっている方々の非常に重要な任務だと感じる。皆さんにお願いしたいのは楽しいと感じて、良いということ伝えてファンを作ること。そのためには生物多様性についてあまり理解しない人が入ってきて、ちょっと荒らしてしまうことがあるかもしれない。でもそういうのもバランスだと思う。極論から言うと東京の都市部にいる絶滅危惧種がいなくなっても、地球上からいなくなる種はほとんどいない。だから、気軽に扱える。そのような場であることを踏まえながら、楽しさを伝える場のような活動になっていけばよいと思う。今後ともそのような活動の機会があればぜひ協力させてほしい。ほかに何かあるか。

委員 本計画は市民目線で分かりやすく書かれていてよいと感じた。ESD投資やSDGsなど民間企業の付き合いのある方と話すとお金を出すタイミングを待っている。しかし、どういうところに出していいのかわからない。情報がない。行政に聞いても平等の観点から、ここが良いですとは言えない。八王子市でやっている団体や行政の取組の情報のプラットフォームがないと民間の活用や、横のつながりができない。それは是非行いたいと思う。

座長 この懇談会は、計画を議論することが目的であったが、大切なのはその後で、他の自治体でもプラットフォームを作れるほどの人が集められないし、堅い話をせざるを得ない。八王子市で緑地に関わる人たちが年1回ぐらい集まって意見交換することから始めていけばいいと思う。今回は教育委員会の方に委員になっていただいたのが良かった。学校の先生はほとんど関わりがないため、そのような場で試していくことも大切だと思う。これで令和元年度第4回八王子市みどりの基本計画策定検討懇談会を閉会する。

以上
午後3時00分 閉会